

社会福祉学専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

【博士課程前期】

博士課程前期においては、主査を中心に学内の3名の指導教員が修士論文の完成まで指導を行う。

前期課程では、コースワークを通じて、①正しい研究方法を身につけた研究者の養成、②高い問題解決能力を身につけた研究志向を持ったソーシャルワーカーの養成指導を行う。

| 年次 | 内容 | 研究指導概要 |
|------------|---|---|
| 1年次 | | |
| 4月 | 新入生オリエンテーション 「学習・研究計画書」の提出 | <ul style="list-style-type: none"> 学位取得に向けたスケジュールの確認等を行う。 十分な研究成果を上げるために必要な学習・研究の方向を明確にする。 |
| 3月 | 「研究計画実践報告書」の提出 | |
| 2年次 | | |
| 4月 | 専攻在学生オリエンテーション 「学習・研究計画書」の提出 | <ul style="list-style-type: none"> 学位取得に向けたスケジュールの確認等を行う。 十分な研究成果を上げるために必要な学習・研究の方向を明確にする |
| 7月 | 修士論文中間発表会 | |
| 10月 | 修士論文題目等の提出 | <ul style="list-style-type: none"> 論文タイトル、目次、主な研究方法を報告。主査・副査を決定する。 予備審査会を設置し(主査1名、副査2名)、予備審査を行う。問題点等を指摘及び指導する。専攻会議にて予備審査結果の報告を行う。 |
| 11月 | 専攻内予備審査のためのドラフトの提出 | |
| 1月 | 修士論文提出 | |
| 2月 | 修士論文口述試験および 修士論文発表会 専攻会議にて審査結果を報告する 研究科委員会における修了認定 | |
| 3月 | 学位(修士)授与 | <ul style="list-style-type: none"> 修士論文の概要について報告後、口述試験を実施する。可否の判定を行う。 主査から審査結果を報告する。 修士学位授与の決定。 |

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

【博士課程後期】

博士課程後期においては、それぞれの研究テーマに即して、博士論文作成を目標とした研究指導を行う。

博士後期課程在学院生は、後期課程1年から3年までの毎年、学年末までにその年の研究成果を400字詰原稿用紙20枚以上の論文に取りまとめて指導教員に提出するものとする。ただし、指導教員は、研究テーマに関連する学会発表や学会誌などへの投稿をそれに代わるものとして認定することができる。当該院生は、できる限り学会発表あるいは論文投稿の形で毎年研究成果を発表することが望ましい。年度末に研究計画の実践報告を提出することとする。博士後期課程在学院生で博士論文提出予定の者を対象として、博士論文中間発表会を毎年2回開催する。博士論文提出予定者は、指導教員と時期を相談の上、在学中、ドラフト提出より前に少なくとも一回は、博士論文中間発表会の場において、専攻の専任教員の前で今までの研究成果を発表することを義務づけられる。提出予定者は中間発表会の場で今後の研究の進め方などの指導を受ける。

| 年次 | 内容 | 研究指導概要 |
|------------|---|--|
| 1年次 | | |
| 4月 | 新入生オリエンテーション 「学習・研究計画書」の提出 | <ul style="list-style-type: none"> 学位取得に向けたスケジュールの確認等を行う。 十分な研究成果を上げるために必要な学習・研究の方向を明確にする。 |
| 7月 | 日本女子大学社会福祉学会大会 博士論文中間報告会参加 | |
| 3月 | 「研究計画実践報告書」の提出 | <ul style="list-style-type: none"> 学会大会への参加・口頭発表。 研究や論文の作成方法について修得する。 |
| 2年次 | | |
| 4月 | 専攻在学生オリエンテーション 「学習・研究計画書」の提出 | <ul style="list-style-type: none"> 学位取得に向けたスケジュールの確認等を行う。 十分な研究成果を上げるために必要な学習・研究の方向を明確にする。 |
| 7月 | 日本女子大学社会福祉学会大会 博士論文中間報告会 | |
| 12月 | 博士論文中間報告会 | <ul style="list-style-type: none"> 研究の成果を発表し、今後の研究の進め方について指導する。 研究の成果を発表し、今後の研究の進め方について指導する。 |
| 3月 | 「研究計画実践報告書」の提出 | |
| 3年次 | | |
| 4月 | 専攻在学生オリエンテーション 「学習・研究計画書」の提出 | <ul style="list-style-type: none"> 学位取得に向けたスケジュールの確認等を行う。 十分な研究成果を上げるために必要な学習・研究の方向を明確にする。 |
| 7月 | 日本女子大学社会福祉学会大会 専攻内予備審査のための博士論文ドラフト提出 | |
| 10月 | 博士学位申請論文提出 | <ul style="list-style-type: none"> 予備審査会を設置し(主査1名、副査2名)、予備審査を行う。問題点等を指摘及び指導する。専攻会議にて予備審査結果の報告を行う。 研究科委員会にて論文受理と審査委員の選出する。 最終試験(口述試験)を実施する。可否の判定を行う。 主査から審査結果を報告する。 博士学位授与の決定。 |
| 1月 | 公開審査会および最終判定会議 専攻会議にて審査結果を報告 | |
| 2月 | 研究科委員会における審査結果報告、 学位授与審議 | |
| 3月 | 学位(博士)授与 | |

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

教育学専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

【博士課程前期】

博士課程前期においては、主査を中心に2人の副査の教員とともに修士論文の完成まで指導を行う。教育学の幅広い専門知識を獲得するため専攻内の多様な科目の履修が推奨される。

| 年次 | 内容 | 研究指導概要 |
|------------|--|---|
| 1年次 | | |
| 4月 | オリエンテーションへの参加 毎週「特別研究」において、指導教員に対して研究指導の進捗状況を報告し、研究指導を受ける | 4月以降、指導教員による修士論文執筆指導及び研究指導 |
| 6月～ | 研究計画の提出 | 2年生が行う修士論文中間発表会へ参加し、研究や論文作成方法を修得する学会への参加を奨励 |
| 2年次 | | |
| 6月 | 修士論文中間発表会で報告 | 中間発表会で問題点等を指摘及び指導する |
| 7月～9月 | 中間発表会で指摘された問題点等を踏まえて、研究を深化させる | 中間発表会で指摘された問題点等を踏まえた研究指導 |
| 10月 | 修士論文中間発表会で報告 | 中間発表会で問題点等を指摘及び指導する |
| 11月～12月 | 中間発表会で指摘された問題点等を踏まえて、研究を深化させる | 中間発表会で指摘された問題点等を踏まえた研究指導 |
| 11月 | 修士論文最終題目の提出 | |
| 1月 | 修士論文の最終提出、口頭試問 | 修士論文審査委員会の設置 修士論文審査の実施 修士論文の可否の決定 |
| 2月 | 修士論文発表会 | |
| 3月 | 研究科委員会における修了認定 学位(修士)授与 | |

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

【博士課程後期】

博士論文を提出する者は、提出論文に関わる論文を、本学の博士課程後期を経た場合は2本以上、本学以外の博士課程後期を経た場合、及び博士課程後期を経ない場合は3本以上、全国学会誌に掲載していることが望ましい。博士課程前期と同様、指導教員を含む複数の指導教員による指導がなされる。研究情報発信の経験と知識を積むために学会への参加が奨励される。

| 年次 | 内容 | 研究指導概要 |
|------------|---|--|
| 1年次 | | |
| 4月 | オリエンテーション 研究指導体制・指導計画の確定 指導教員に対して、研究の進捗状況等を随時報告し指導を受ける 履修(論文執筆)指導計画の確定 | 指導教員による博士論文執筆指導及び研究指導 履修(博士論文執筆)指導計画の策定 研究の進捗状況等の報告を随時受け研究指導を行う 履修(論文執筆)指導計画書の見直し |
| 2年次 | | |
| 4月～3月 | 研究テーマ・内容の確認と決定 | 博士論文執筆の進捗状況の確認及び研究指導 |
| 3年次 | | |
| 4月～5月 | | |
| 5月 | 博士論文構想発表会(専攻内予備審査) | 予備審査会の設置 博士論文の予備審査 |
| 7月 | 専攻内提出 | |
| 8月～9月 | 専攻内審査 | 主査1名、副査2名による専攻内審査 専攻内審査で指摘された内容を修正する |
| 10～11月 | | |
| 11月 | 博士学位申請論文及び概要等の最終提出 研究科委員会の博士学位申請受理 | 研究科委員会へ博士論文提出 学位審査委員会の設置 |
| 12月～1月 | 審査委員会による公開審査(公開口頭試問、最終試験の実施) | 博士論文の審査 最終口述試験の実施 |
| 2月～3月 | 研究科委員会における審査結果報告、学位授与審議 | 博士学位授与の決定 |
| 3月 | 学位(博士)授与 | |

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

現代社会論専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

【博士課程前期】

博士課程前期においては、主査を中心に学内の3名の指導教員が修士論文の完成まで指導を行う。
修士論文執筆の能力を獲得するとともに学術情報発信の実験を経験するため、学会への参加が奨励される。

| 年次 | 内容 | 研究指導概要 |
|------------|---|--|
| 1年次 | | |
| 4月 | 学位論文執筆ガイダンスへの参加 毎週「特別研究」において、指導教員 に対して研究指導の新捗状況を報告 し、研究指導を受ける。 | ・学位(修士・博士)論文執筆ガイダンスの実施 ・指導教員1名、副指導教員2名の決定 ・4月以降指導教員、副指導教員による修士論文執筆指導及び研究指導 |
| 6月 ～ | 研究テーマ・内容の確認と決定 指導教員による指導 | ・2年生が行う修士論文中間発表会、最終報告会へ参加し、研究や論文作 成方法を習得する。 ・学会への参加を奨励 |
| 2年次 | | |
| 6月 | 修士論文中間発表会で報告 | ・中間報告会で問題点等を指摘及び指導する。 |
| 9月～10月 | 中間発表会で指摘された問題点等を踏ま えて、研究を深化させる。指導教員による指 導 | ・中間発表会で指摘された問題点等を踏まえた研究指導 |
| 1月～2月 | 修士論文の最終提出、口頭試問 (博士課程後期入学試験) 修士論文発表会での報告 | ・修士論文審査委員会の設置 ・修士論文審査の実施 ・最終試験(口述試験)の実施 (博士課程後期入学者、進学者の決定) |
| 3月 | 研究科委員会における修了認定 学位(修士)授与 | ・修士論文可否の決定 |

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

【博士課程後期】

博士課程後期においては、博士論文の提出にあたって、学会誌または大学院紀要などに掲載された論文を1編以上有すること。
博士課程前期と同様、指導教員を含む複数の指導教員による指導がなされる。研究情報発信の経験と知識を積むために学会への
参加は、前期に引き続き奨励される。

なお、以下の論文指導スケジュールは、学生の専門分野や研究の進捗状況によって異なるため変動的である。指導教員による博
士論文作成に関する指導、予備審査会における研究計画の承認や、博士論文中間発表会が毎2回学生ごとに行われる。

| 年次 | 内容 | 研究指導概要 |
|------------|---|---|
| 1年次 | | |
| 4月 | 博士学位論文執筆ガイダンス 研究指導体制・指導計画の確定 | ・博士論文執筆ガイダンスの実施 ・指導教員1名、副指導教員2名の決定 ・4月以降指導教員、副指導教員による博士論文執筆指導及び研究指導 ・履修(博士論文執筆)指導計画の策定 |
| 7月 | 指導教員に対して、研究の進捗状況等 を随時報告し指導を受ける。 中間発表会への参加 | ・研究の進捗状況等の報告を随時受け研究指導を行う。 |
| 10月 | 履修(論文執筆)指導計画 | ・履修(論文執筆)指導計画書の見直し |
| 3月 | 論文発表会参加 | |
| 2年次 | | |
| 4月～2月 | 研究テーマ・内容の確認と決定 | ・博士論文執筆の進捗状況の確認及び研究指導 |
| 7月 | 中間発表会での報告(第1回) | |
| 3月 | 修士論文発表会への参加 | ・中間発表会で問題点等を指摘及び指導する。 |
| 3年次 | | |
| 4月 | 博士論文専攻内予備審査 | |
| 6月 | 草稿提出 | |
| 7月 | 中間発表会での報告(第2回) | ・予備審査会の設置 ・博士論文の予備審査、口述報告の実施 |
| 11月 | 博士学位申請論文及び概要等の最終 提出 研究科委員会の博士学位申請受理 | ・研究科委員会へ博士論文提出 ・学位審査委員会の設置(主査1名・副査2名以上の承認) |
| 1月 ～ | 審査委員会による公開審査(公開口頭 試問、最終試験の実施) | ・博士論文の審査 ・最終口述試験の実施 |
| 2月 | 研究科委員会における審査結果報告、 ～学位授与審議 | ・博士学位授与の決定 |
| 3月 | 学位(博士)授与 | |

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

心理学専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

【博士課程前期】

博士課程前期課程では、1年目は心理学研究基礎論講義・演習科目において、専攻教員全員の出席のもと、1年生全員が修士論文作成計画を発表する。2年目以降は、主として指導教員が特別研究や各自の専門演習・講義科目の中で論文作成指導を行う。臨床領域コースでは、臨床心理士受験資格取得のため受験資格指定科目(26単位以上)についての指導も行う。基礎・臨床の領域にかかわらず、学会への参加が奨励されている。

| 年次 | 内容 | 研究指導概要 |
|------------|--|---|
| 1年次 | | |
| 4月 | 学位論文執筆ガイダンスへの参加 | ガイダンスで修士論文までの道のりを説明する。指導教員を決定する。4月以降指導教員を中心に修士論文執筆指導及び研究指導を行う。 |
| 4月～ | 心理学研究基礎論講義・演習科目での発表 | 専攻教員全員による発表内容の吟味と批評、前期・後期それぞれ少なくとも1回の発表が義務づけられている。 |
| | 心理学特論 | 専攻の専任教員と学外の非常勤講師が特論の講義・演習科目を開講し、各専門の論文の読み方、実験・観察・調査の組み立て方、実施方法を学び、さらに臨床領域では面接技法や介入・援助の初歩に関する理論と実践を1年を通じて学んでいく。 |
| | 臨床心理実習 | 臨床心理領域教員全員による個人スーパービジョン、グループ・スーパービジョンを通して面接技法や介入・援助の実践力を養う。 |
| | 臨床心理査定・特別講義 | 心理査定法のうち投影法の理論と実践を学び、質的研究法を身につける。 |
| 7月・2月 | 修士論文中間報告会、修士論文発表会への参加 | 2年生が行う修士論文中間報告会、修士論文発表会へ参加し、研究や論文作成方法を修得する。 |
| 2年次 | | |
| 4月 | 学位論文執筆ガイダンスへの参加 | ガイダンスで修士論文までの道のりを再度説明する。 |
| 4月～ | 心理学特論 | 引き続き、専攻の専任教員と学外の非常勤講師が特論の講義・演習科目を開講し、各専門の論文の読み方、実験・観察・調査の組み立て方、実施方法を学び、さらに臨床領域では面接技法や介入・援助の初歩に関する理論と実践を1年を通じて学んでいく。 |
| | 臨床心理実習 | 引き続き、臨床心理領域教員全員による個人スーパービジョン、グループ・スーパービジョンを通して面接技法や介入・援助の実践力を養う。 |
| 7月 | 修士論文中間報告会 | 専任教員全員の出席のもとで、修士論文中間報告会を実施、指摘された問題点等を踏まえた研究指導をさらに行う。 |
| 1月～ 2月 | ・修士論文の提出、口頭試問 ・修論発表会 ・博士課程後期入学試験 | 提出された修士論文に主査と副査2名がついて審査を行う。口頭試問を経て合格した者は発表会に臨む。 |
| 3月 | 研究科委員会における修了認定と学位(修士)授与 | |

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

心理学専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

【博士課程後期】

研究者、実践者としての能力を高め、博士論文作成に向けて3年間を過ごすことになる。

研究の目標としては、博士論文提出資格に到達すること、すなわち

- ① 審査を経て掲載を認められた学会誌論文2編以上存在すること、
- ② 共著論文の場合は、ファーストオーサーであること、
- ③ 臨床実習などの論文外に関しては別途定めた実績評価に沿うこと、

を到達目標とし、指導を行う。

それに向けて、前期または後期に少なくとも1回は中間報告を発表し、専攻教員全員が発表内容の吟味と批評を行う。

その上で、学内外、国内外の学会・研究会活動に積極的に参加・関与し、研究者や実践家とのコミュニケーションを通して最新の理論と研究法に接する機会をもつよう働きかける。

| 年次 | 内容 | 研究指導概要 |
|----------------|--|---|
| 1年次 | | |
| 4月 | 博士學位論文執筆ガイダンス | ガイダンスで博士論文提出までの行程と博士論文提出資格について説明をする。 指導教員を決定する。 4月以降指導教員を中心に博士論文執筆指導及び研究指導を行う。 |
| 4月～ | 特別研究 | 博士論文の完成に向け、専攻教員全員による発表内容の吟味と批評、前期または後期少なくとも1回の発表を義務づける。 |
| | 心理学研究 | 基礎領域、基礎関連領域の専任教員が心理学研究の講義・演習科目を開講し、各専門の学術知識を蓄積しながら、自分の研究を学外の学術雑誌に投稿する準備を行う。 |
| | 心理学特別研究 | 学外の非常勤講師による各専門領域における最新の研究法による研究成果を広く学ぶ。ここには実践的心理療法の講義・演習も含まれる。 |
| | 臨床心理学研究 | 臨床領域の専任教員が臨床心理学研究の講義・演習科目を開講し、治療・援助に関するより高度な知識と実践力を身につけることができるようになる。 |
| 2年次 | | |
| 4月～ | 特別研究 | 博士論文の完成に向け、専攻教員全員による発表内容の吟味と批評、前期または後期少なくとも1回の発表を義務づける。 |
| | 心理学研究 | 引き続き、基礎領域、基礎関連領域の専任教員が心理学研究の講義・演習科目を開講し、各専門の学術知識を蓄積しながら、自分の研究を学外の学術雑誌に投稿する準備を行う。 |
| | 心理学特別研究 | 学外の非常勤講師による各専門領域における最新の研究法による研究成果を広く学ぶ。ここには実践的心理療法の講義・演習も含まれる。 |
| | 臨床心理学研究 | 臨床領域の専任教員が臨床心理学研究の講義・演習科目を開講し、治療・援助に関するより高度な知識と実践力を身につけることができるようになる。 |
| 3年次 | | |
| 4月～ | 心理学特別研究 | 学外の非常勤講師による各専門領域における最新の研究法による研究成果を広く学ぶ。ここには実践的心理療法の講義・演習も含まれる。 |
| 4月 ～ 10月 | 博士論文専攻内予備審査 | ・専攻内予備審査会の設置 ・博士論文の骨格を専攻教員全員の前で示し、内容の吟味と批評を受ける。 ・その後、専攻内の審査を経て、研究科委員会に学位請求論文として提出する準備を行う。 |
| 11月 | 博士學位論文及び概要等の必要書類を提出 | ・研究科委員会への博士論文の提出 ・研究会委員会の論文受理を経て、審査委員会の設置 |
| 12月 ～ 1月 | 審査委員会による公開審査 | ・博士論文の審査 ・公開口頭発表と公開審査の実施 |
| 2月 ～ 3月 | ・研究科委員会における審査結果報告、学位授与審議 ・学位(博士)の授与 | ・研究科委員会での審議を経て、博士學位授与の決定 |

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

相関文化論専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

【博士課程前期】

博士課程前期においては、主査を中心に学内の3名の指導教員が修士論文の完成まで指導を行う。修士論文執筆の能力を獲得するとともに学術情報発信の実験を経験するため、学会への参加が奨励される。

| 年次 | 内容 | 研究指導概要 |
|------------|---|--|
| 1年次 | | |
| 4月 | 毎週「特別研究」において、指導教員に対して研究指導の進捗状況を報告し、研究指導を受ける。 | <ul style="list-style-type: none"> 指導教員1名、副指導教員2名の決定 4月以降指導教員、副指導教員による修士論文執筆指導及び研究指導 |
| 6月 | 研究テーマ・内容の確認と決定 | <ul style="list-style-type: none"> 2年生が行う修士論文中間発表会、最終報告会へ参加し、研究や論文作成方法を修得する。 学会への参加を奨励 |
| 2年次 | | |
| 6月末 | 修士論文研究計画書の提出 | <ul style="list-style-type: none"> 中間発表会の一週間前までに提出させ、大学院担当教員全員に配布。 中間発表会で問題点等を指摘及び指導する。 中間発表会で指摘された問題点等を踏まえた研究指導 |
| 7月 | 修士論文中間発表会で報告 ・中間発表会で指摘された問題点等を踏まえて、研究を深化させる。 | |
| 1月 | 修士論文の最終提出 | <ul style="list-style-type: none"> 修士論文審査委員会の設置 修士論文審査の実施 最終試験(口述試験)の実施 (博士課程後期入学者、進学者の決定) 修士論文可否の決定 |
| 2月 | 口頭試問 | |
| 3月 | 研究科委員会における修了認定学位(修士)授与 | |

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

【博士課程後期】

博士課程後期においては、博士論文の提出にあたって、学会誌または大学院紀要などに掲載された論文が3編以上有すること、また学会誌掲載論文のうち1編は審査を経て認められた論文であることが基礎資格として課されている。博士課程前期と同様、指導教員を含む複数の指導教員による指導がなされる。研究情報発信の経験と知識を積むために学会への参加は、前期に引き続き奨励される。なお、以下の論文指導スケジュールは、学生の専門分野や研究の進捗状況によって異なるため変動的である。指導教員による博士論文作成に関する指導、博士論文中間発表会(専攻内予備審査会)において、主査を含む3名以上の教員によって研究計画の承認を経て、博士論文提出資格を得る。なお、博士論文を提出せずに留年予定の2年次以上の学生は、年1回、定期発表会での研究の進捗状況の報告が課される。

| 年次 | 内容 | 研究指導概要 |
|------------|---|--|
| 1年次 | | |
| 4月 | 研究指導体制・指導計画の確定 | <ul style="list-style-type: none"> 指導教員1名、副指導教員2名の決定 4月以降指導教員、副指導教員による博士論文執筆指導及び研究指導 履修(博士論文執筆)指導計画の策定 執筆要項の配布 |
| | 指導教員に対して、研究の進捗状況等を随時報告し指導を受ける。 | <ul style="list-style-type: none"> 研究の進捗状況等の報告を随時受け研究指導を行う。 |
| 10月 | 履修(論文執筆)指導計画の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 履修(論文執筆)指導計画書の見直し |
| 2年次 | | |
| 4月～9月 | 研究テーマ・内容の確認と決定 | <ul style="list-style-type: none"> 博士論文執筆の進捗状況の確認及び研究指導 |
| 9月末 | 博士論文研究計画書の提出 | <ul style="list-style-type: none"> 中間発表会(専攻内予備審査会)の一週間前までに提出させ、大学院担当教員全員で内容確認。 |
| 10月 | 博士論文中間発表会(専攻内予備審査会) | <ul style="list-style-type: none"> 中間発表会(専攻内予備審査会)で問題点等を指摘及び指導する。 主査を含む3名以上の教員によって研究計画の承認がなされる。 発表後、発表者に報告書を提出させる。 |
| 3年次 | | |
| 7月下旬 | 博士論文専攻審査会 | <ul style="list-style-type: none"> 専攻審査会の設置 博士論文の事前審査 |
| 9月～11月 | <ul style="list-style-type: none"> 博士学位申請論文及び概要等の最終提出 研究科委員会の博士学位申請受理、及び審査委員会設置審議 | <ul style="list-style-type: none"> 研究科委員会へ博士論文提出 学位審査委員会の設置(主査1名・副査2名以上の承認) |
| 1月～ | 審査委員会による公開審査(公開口頭試問、最終試験の実施) | <ul style="list-style-type: none"> 博士論文の審査 最終口述試験の実施 |
| 2月～3月 | 研究科委員会における審査結果報告、学位授与審議 学位(博士)授与 | <ul style="list-style-type: none"> 博士学位授与の決定 |

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。